

高砂音楽祭 2017 でまちづくりのPR活動をしました

毎年恒例の「高砂音楽祭 2017」(高砂ウッドストック)が、10月22日(日)に高砂北公園で開催されました。

あいにくの雨でしたが、高砂地区開発協議会では、まちづくり活動のパネル展示と、まちづくりアンケートを行いました。アンケートにご回答を頂いた方に、チューリップの球根を配布し、子ども達は、スーパーボールすくいと水ヨーヨーつりを楽しんでいました。



家族連れが集まる協議会テント



パネルの前でアンケートに回答を記入中



スーパーボールと水ヨーヨーは、子どもに人気

キリトリ線

高砂地区のまちづくりや創出用地地区勉強会についてのお問い合わせ、勉強会ニュースを讀んでのご感想・ご意見などがありましたらお知らせ下さい。



お名前：
お電話番号：
FAX：

高砂地区開発協議会事務局
葛飾区役所 高砂地域整備担当
電話： 03-5654-8344
FAX： 03-3697-1660

住みよい高砂・団地周辺のまちづくり

創出用地地区勉強会ニュース

第4号 平成29年12月

「創出用地まちづくり構想(案)」

をまとめました!

創出用地地区勉強会は、昨年2月に発足し、これまで計5回の勉強会を開催して、都営団地の建替えに伴い創出される用地(=創出用地)を活かしたまちづくりについて話し合ってきました。このたび、その成果を「創出用地まちづくり構想(案)」としてまとめました。(2,3ページ参照)



■平成29年度第1回開催概要

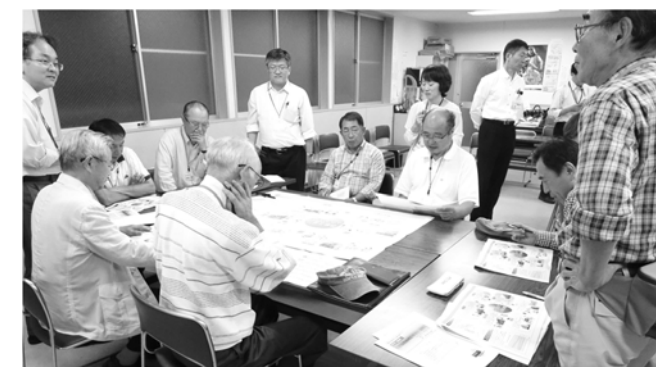
平成29年度第1回勉強会は、15名が参加して平成29年10月2日(月)に開催されました。

勉強会では、まず、これまでの勉強会や事例視察を振り返り、前回まで議論してきた事柄について復習をしました。次に、勉強会メンバーが考えた「創出用地に必要と思う機能」として、商業、サービス、交流、子育て支援、医療、居住という、6つの機能を整理し、それぞれの内容・イメージを確認しました。

2つの班に分かれたワークショップでは、構想のとりまとめに向けて、6つの機能を説明する文章について、議論をしました。自由に意見を出し合い、最後に、それぞれの代表者が話し合った結果を発表しました。

《ワークショップの主な意見》

「商業は地区外ではなく高砂地域の人が集まるもの、駅前や商店街とも共存できるものが良い」、「1つの機能で一つの施設と定めるのではなくバランスよく組み合わせるほうが良い」、「高齢者向けの施設ばかりでなく、若い人向けの内容も盛りこむべき」



ワークショップの様子(1班)



ワークショップの様子(2班)



代表者が結果を発表

創出用地を生かしたまちづくり

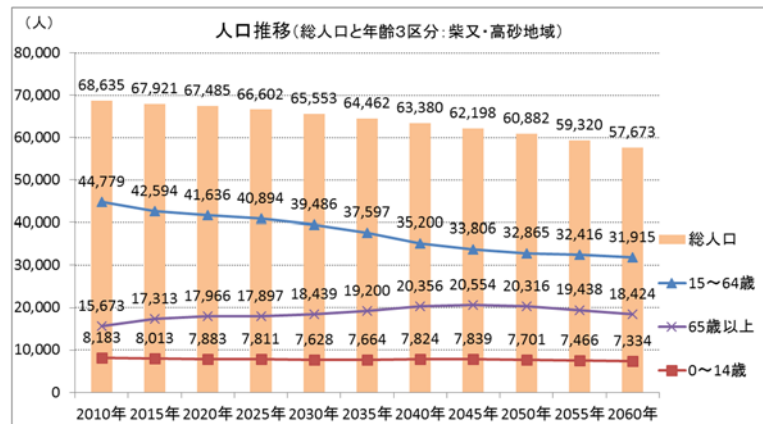
高砂団地の建替えに伴い創出される用地のうち、団地建替え事業や連続立体交差事業に必要な用地を除いた、下図の「検討対象ゾーン」について、高砂地域のまちづくりとして、必要な機能を検討しました。



若い世代も住みたくなる、便利で快適で活力あるまちづくり

柴又・高砂地域の将来人口は、2060年までに約15%減少、特に15～64歳の生産年齢人口の減少が予測されています。

しかし、金町駅周辺のように、大規模開発とともに大きなマンションが建設されると、若い世代を中心に人口が大きく増加する可能性があります。



資料:葛飾区

商業

～高砂地域の人々が集まる賑わいのあるまちにするために～

日常の買い物、飲食や生活サービス等をそろえることができ、駅前や商店街とも共存できる、身近な商業機能が必要です。



《例》中小規模のスーパー、ファミリーレストラン、ショッピングモールなど

子育て支援

～未来を担う子どもたちを安心して育てるまちにするために～

子どもの保育・学習や、子育て中の親子や多様な世代が集まって気軽に相談・交流ができる機能が必要です。



《例》保育所、子どもの遊び場、相談室など

サービス

～ずっと住み続けられる快適なまちにするために～

若者から高齢者まで、幅広い世代の暮らしを支える生活サービス機能や、福祉機能、娯楽機能が必要です。



《例》特別養護老人ホーム、クリーニング店、理美容室など

医療

～健康で安心して暮らせるまちにするために～

日常的な診療や健康管理等を行ってくれるかかりつけの医療機能が必要です。



《例》クリニック、リハビリ施設など

創出用地で必要な機能

居住

～誰もが心地よく暮らせるまちにするために～

子育て世代、若者、高齢者などの多様なライフスタイルに応じて新しい住民を迎え入れる居住機能が必要です。



《例》マンション、高齢者向け住宅など

交流

～住民同士のつながりを深め、活力のある元気なまちにするために～

レジャー・文化などのさまざまな活動を通じて多様な世代が交流し地域コミュニティを育む機能が必要です。



《例》スポーツクラブ、湯浴施設、コミュニティカフェ、多目的ホールなど